

イーハートーブ

関西岩手県人会報 第15号

2010年2月24日発行

関西岩手県人会

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-900

大阪駅前第1ビル9階 岩手県大阪事務所内

Tel & Fax 06-6344-5969

発行代表者 鎌田 龍児

編集代表者 松坂 定徳

22年度総会・新春懇親会賑やかに開催

平成22年1月31日、大阪市北区西天満の「スーパードライ梅田店」にて、11時より総会が、引き続き新春懇親会が開催された。八幡勝栄常任幹事(元アサヒビール勤務)のお世話により、総会会場は別室が用意され、クロークも準備されていた。今年度から、総会と新春懇親会を一緒に実施することになったが、そのせいか、総勢85名の出席者があり、近年まれに見る盛会となった。

〈総会議事内容〉

ほぼ定刻に、藤井勝副会長の司会で始まり、まず鎌田龍児会長の挨拶があり「今年度も会員の増強と収支の健全化に努力すること、また他団体との交流を深めていきたい」との抱負が語られた。議事に入るに当たり、慣例により、鎌田会長が議長に選出され、議長の指名により、熊谷克己事務局長(兼副会長)から、平成21年度事業報告、同決算報告が



あった。例年と異なる点は、事業年度の期間変更により、事業活動報告は平成21年4月から12月までの9ヶ月に限られていたことである。宮沢賢治忌法要(9月21日、

事業報告をする熊谷事務局長

比叡山延暦寺)、アテルイ・モレの法要(11月14日、京都清水寺)、ゴルフ会、桐の会、高校ラグビー応援などの定例行事のほか、平成21年度の特筆すべきことは、甲子園の高校野球大会で、菊池雄星投手を擁する花巻東高校が、春の選抜大会で準優勝、夏の大会では準決勝進出という大活躍に、大勢の関西岩手県人会員が狂喜し応援に駆けつけた。また久しぶりのバス旅行で滋賀県長浜市および姉川古戦場跡を観光したとの報告があった。

決算報告では、前述の会計年度の変更により、4~12月の期間となったので、次期繰越金が多くなったものの、22年度1~3月に支出予定があり、「余裕はない」との報告があった。なお、役員退任に際し、柏山喬前副会長(現顧問)、松本泰州前監事より多大な寄付金を頂戴したとのことであり、大変

ありがたく御礼申し上げます。

次いで、監事を代表して鈴木政人氏より、「決算書類が適法且つ正確に記載されている」旨の監査報告があり、21年度事業報告および決算報告が承認された。

引き続いて平成22年度事業計画の説明があった。行事等についてはほぼ例年通りであるが、活動の基本的考え方として以下の3点をあげた。①会員の皆様が各行事に多数参加いただけるよう、情報を蜜にする。②補助金は県人会と県のPRに貢献するものに限定する。③京都県人会、青森、秋田県人会との交流を深める(花見、紅葉狩りなど)。平成22年度の予算案は、これら基本方針を反映させたものとなっており、22年度事業計画同様に異議はなく承認された。

〈絵画即売会〉

総会終了から懇親会開催までの間に40分の時間をとり、川村巖氏(一関市)の描いた13枚の絵の即売会を行った。懇親会場の後ろの方に展示された13枚の水彩画は、いずれも見事なもので、希望者が複数となった絵もあり、最後は「ジャンケン」による決定となった。



川村巖氏(一関市)

県人会にとっても川村氏にとっても初めての試みとのことだが、いずれの絵も時間内に完売となった(出品絵画一覧参照)。特に、郷土岩手の風景が描かれた2枚の絵は人気があった。川村氏から、県人会の財政が厳しいのを見かねて、売り上げの大半を寄付するとの申し出があり、県人会事務局としてはありがたく申し出を受けることになった。当日は雨模様の天気であったが、川村氏は雨対策の袋も用意してきており、13枚の絵を自ら厳重に包装し、持ちやすいように取っ手をつけた梱包に仕上げてくださいました。これらの絵に対する川村氏の熱い想いを感じました。なお来年は、山岳写真家である多賀谷真吾氏が、今年の初夏に出版予定の写真集(いわて旬華愁凍、予価¥2,500 税別 叢文社)を複数持参し、「売上金は県人会

に寄付する」とのありがたい申し出があったのでご期待下さい。多賀谷氏は西宮市出身ですが、岩手が大好きで、関西の数校の大学で英語講師を務めるかわら、足しげく岩手に通い、ついに 2007 年から住民票を岩手に移し、岩手県民となっています。総会前日まで岩手にいたということでした。

〈新春懇親会〉

絵画即売会の余韻覚めやらぬ間に、池田希和夫常任幹事の司会により、懇親会が始まった。冒頭、鎌田会長が「課題である会員増と収入増を図る一環として、県人会のホームページを立ち上げることにした。これは山本幸子さん



挨拶の鎌田会長

(盛岡市)の全面的なご協力により、具体化したもので、関西と県人会、岩手をつなぐ架け橋にしたい。バナー広告も収容していきたいので、会員の皆様のご協力をお願いします」と挨拶した後、ご来賓の岩手県副知事宮舘壽喜さまからご祝辞をいただいた。政権交代による平成 22 年度国家予算編



祝辞を述べる宮舘壽喜副知事

成の遅れから県の予算編成作業も遅れ、当初は本会を欠席の予定であったが、前日に終了したので、急遽予定を変更して駆けつけたとのこと。郷土の明るい話題としては①高校野球で、岩手県勢としては未だかつてなかったほどの大活躍をした花巻東高校に対し、県民栄誉賞が送られた。②早池峰神楽(花巻市大迫町)が、昨年9月にユネスコ世界無形遺産に登録された。③平泉の世界文化遺産については、1月に再度申請することになった(結果は来年6月)などがある。県政では、昨今の人口減やグローバル化に対応して、岩手県の長期総合計画というべき「10年後を見据えた長期ビジョンと具体的取り組み」から成る「岩手県民計画」を策定したこと。長期ビジョンでは、岩手の未来を招く「ゆたかさ、つながり、ひと」を掲げ、基本目標を「一緒に育む“希望郷いわて”としたなど、郷土の現状を説明されました。

その後しばし会食・歓談のあと、恒例の「カラオケ大会が始まり、有志によるのど自慢が披露された。率先して名乗り出るだけあって皆さんとても上手であった。また、余興の目玉、吉田真二岩手県大阪事務所次長と入江陽子氏(神戸市出身、矢巾町に6年あまり住んだ)により、「盛岡さんさ踊り」が披露された。お二人は、さんさ踊りの本格的衣装に身を包み、吉田次長は太鼓のバチさばきも見事に会場を練り歩き、その後ろから入江氏ほか飛び入りの会員が太鼓にあわせ、動きの早い踊りを見せて、やんやの喝采を浴びた。吉田次

長は、昨年の吉本新喜劇出演で話題に成ったが、ほんまに芸達者な方です。



見事なバチさばきの吉田次長

次いで、これも恒例になった抽選会に移り、会場入り口で手渡された番号札との照合となった。今年は不思議にも、女性や初参加の方に「当たり」が多かったようである。景品は2千円相当の商品券 29 本と鎌田会長寄贈のお米(ひとめぼれ2kg)が 6 本であった。お米は鎌田会長のご友人が丹精込めて作ったものとのこと。抽選に漏れた方も、帰りにそれぞれ郷土の名産品を「手土産」にもらいました。最後に有志が舞台に立ち、向かい合う形に全員が起立し「北国の春」を合唱した。県人会出席者の心がひとつになった瞬間でした。

中締めは松坂定徳副会長で「岩手をこよなく愛する皆さん、春のセンバツ代表に決まった“盛岡大付属高校”の応援、比叡山の宮沢賢治忌法要、清水寺のアテルイ・モレの法要にも参加して下さい」と呼びかけて「お開き」となりました。

深田記

川村 巖氏 出品絵画一覧

画題	号	購入者 (敬称略)
1. 街路樹	6	佐藤勇作
2. こぼれび	6	青木君代
3. 裏山の春	6	善國高豊
4. 夜陰に乘じ	3	多賀谷真吾
5. 象	4	柏山 喬
6. 庭園の錦	6	菊池憲司
7. 植物園	6	伊藤 昭
8. 夜明け	6	松本泰洲
9. メタセコイヤの秋	6	川上康子
10. ツェ・ツェーリンホブ宮殿	6	佐藤 彰
11. ポプラ	4	池田希和夫
12. 静寂・櫓音・波音のみ	8	金野 衛
13. 小岩井より岩手山	6	濱本昌範

お買い上げ有り難うございました。

事務局

「アテルイ・モレの碑」建立15周年記念法要

盛会裏に終了！

去る平成21年11月14日(土)「関西アテルイ・モレの会」では、清水寺に『阿豆流為・母禮の碑』を建立して15周年を迎えました。法要としては16回目である。今年の法要は15周年記念法要と銘打って催行され、北上市の郷土芸能「鬼

剣舞」(おにけんばい)を奉納した。

鬼剣舞の奉納は除幕式当日にも行われ、今回で2回目である。当初の予定では演舞会場をアテルイ・モレの碑前で奉



京都鬼剣舞

納する予定でありましたが、踊り手・笛・太鼓のお囃子など十数人と約70名前後の参加者を予定して居ましたが福島県の田村歴史観光協議会のメンバーも加わり、土曜日の観光客の混雑が心配され、また、天候不順の気配もあり急遽法要会場を「圓通殿」に変更することになりました。

圓通殿の大広間の中央祭壇には「阿豆流為・母禮」の位牌を中央にアテルイ酒や生花で飾られた。100人以上の法要参加者を迎えて大広間の圓通殿には、歩道周囲に参加者用の椅子を並べ広間の左右に観客席を設けて勇壮な「鬼剣舞」を觀賞した。今年の鬼剣舞は「京都鬼剣舞(庭元・伊東睦子氏)」の一行が奉納したもので、会長の友人で京都造形芸術大学中路正恒教授の推薦であった。演舞は定刻になると太鼓を打ちながら一座の旗を先頭に入場し、祭壇の前に整列して参拝したあと、数ある演舞の中から会場と演舞時間に合わせて法要に相応しい演目を選び、踊り手が交替しながら約30分間の演舞を奉納した。参拝者からは演目が終了する度に感動の大きな拍手が湧いた。

奉納のあと、清水寺僧侶一行の入場・森貫主が導師となり読経、供養文の勤行が行われ参加者一同による焼香へと進行し圓通殿での法要を終了した。

法要終了後に、京都市の肝入りで特別に制作された「清水寺縁起」を題材とした紙芝居が披露された。内容はアテルイ・モレの碑、法要にマッチした作品で坂上田村麻呂とアテルイ・モレとの友情物語を分かり易く解説した作品である。更に加藤学芸員の案内により希望者を対象に仏足跡などの案内が行われた。

第二部の懇親会では、過去の法要では最大の参加人数となり洗心洞内は大盛会となった。清水寺関係9名、関西の会員40名、奥州市関係21名田村歴史観光協議会34名で合計104名の大懇親会となった。

先ず和賀事務局長の開会の挨拶に続き、森貫主の法話を戴いた。法話の趣旨のみを紹介すると、アテルイ・モ



清水寺・森清範貫主

レの法要も15周年であるが、漢字一文字で表す世相を書き始めて今年で15回目になる。漢字検定協会の不祥事件で清水寺での発表することについて賛否の議論があり、世論を二分することになり、心配をお掛けしたが理事長の交代で協会の体質問題も決着したので、今年も継続して一字を書くことになった。従来は12月12日に書いていたが、今年は土曜日に当り混雑が予想されるので今年12月11日に書かせて頂くことになった。

アテルイ・モレの碑建立に深く貢献された清水寺勸学長の福岡精道師、初代会長の高橋敏男氏が亡くなりましたが、今年8月23日には学芸顧問の横山正幸先生が88歳で他界された。その病床をお見舞いされた様子を貫主独特のユーモアを交えた口調で横山先生との訣別について語られた。人の死の尊厳について哀惜の情を込めて語られた。次に松坂会長から挨拶があり記念法要に参加された各位にお礼を述べ、先ほど鬼剣舞を奉納するきっかけとなったのも亡くなられた横山先生との縁である。七年前に横山先生から京都造形芸術大学の中路正恒先生を紹介され、個人的にも交際し本日の鬼剣舞の奉納することに繋がっている。この鬼剣舞の奉納が横山先生の供養にもなったと思います、と延べた。また、東京からおいででの内山章子(あやこ)さんが中路先生との知り合いであり、自分の恩師の奥様でもある。岩手県水沢出身の偉人「後藤新平翁」のお孫さんであり、水沢と深い縁がある方であるのでお誘いした、と紹介した。最後に法要に参加された各位にお礼と来年も元気で会いしたい、と挨拶された。

続いて来賓の奥州市・岩井副市長。胆江日日新聞・佐々木社長。アテルイを顕彰する会・及川会長。田村歴史観光協議会・根本会長から祝辞を頂戴し、穀田恵二事務所の遠藤所長からは衆議院議員穀田恵二氏が清水寺に建碑のきっかけとなった経緯の文書を配布され穀田議員の欠席を詫言われ15周年の祝辞を頂戴した。

祝辞の時間が多少延びたが毎年清水寺から差入して下さるビールで小瀬川相談役の乾杯の発声により一挙に会場が賑やかになった。胆江日日新聞社から特別に命名した「学遊」の大吟醸の差入れもあり、各自お好みでビール・日本酒を頂き思い出の話題で歓談した。15周年を記念して「会旗」の制作を計画・担当した及川副会長から経緯を説明した。空腹も手伝いお酒も弁当も平らげ、何時もの人気で森貫主の周りには記念撮影で人の群れである。貫主の中座を察知した柏山副会長が暫しのお待ちを頂き、本日の15周年法要にお集まり頂いた各位にお礼を述べ中締め挨拶を行い、森貫主を拍手で会場からお見送りした。

貫主が退席された後も暫く歓談し、各位が退席された後後実行委員の皆さんで後片付けした後に、山門前の「朝日堂」喫茶室で役員有志が集り、コーヒーを頂きながら15周年記念行事の反省会を自画自賛し三々五々帰路に着いた。

参加正会員：安倍寿明・伊藤昭・井堂雅夫・及川光夫・奥村昭吾・小野寺正芳・柏山喬・加藤文雄・熊谷克巳・金野衛・小瀬川操一・小瀬川美代子・佐藤耕吉・島忠征・島信子・

菅洋子・菅原文雄・鈴木綾子・田川康吾・田川光子・鈴木力・高橋清紀・深田稔・藤井勝・藤原照雄・松坂定徳・水上佳子・和賀亮太郎。
(報告;松坂)

平成21年度「桐の会」のご報告

地球の裏側まで見えるかも?と思われるような晴天に恵まれ、瀬戸内に浮ぶ淡路島を借景に、旧日下部汽船の別荘「舞子帆照」で21年度「桐の会」は開催されました。

参加人数は10名で少し寂しい?かな?~と気にしていましたが、それはナンノ・ナンノ...全く余計な心配事でした。

マンツ・マンツの挨拶も終え、我等が「おトウサン」柏山喬氏(何時も大きな存在で思慮深く、少々コワク見えるが本当はやさしい)にご発声をお願いして「桐の会」は始まりました。

テーブルを囲んでの昼食会は...お互いの顔がよく見える。そのため皆の話がよく見える...フウ〜!!!ナルホド...こんな中身の〜イ(濃い)集まりもあるんだ〜ネ〜。乾杯のビールでほんのり上気した会員は皆乙女のように華やいでウツクシイ!!!...ホテルご自慢のお食事を堪能した後は評判の庭で記念撮影なども済ませ、時間に不足も無かったが、なお惹かれあう気持ちは絶ちがたく...。場所を変えては?と「シーサイドホテル舞子ヴィラ」にレグゴウ・レグゴウ!!! ホテルの14階から眺める180度のパノラマに感動!ウウ〜...なんと表現しても言葉ではウソとなる、やはり百聞は一見にしかずという事になりそうデス。

そんな楽しい一時に満足・お腹に満足・景色に満足・そして夕刻の別れには心を残して「21年度桐の会」は閉会致しました。最後になりましたがご参加頂いた皆様に心から厚くお礼を申し上げます。またお会いしましょうネ。きっとネ。

この度はご事情で参加出来なかった皆様、次回の「桐の会」にはどうぞ『心を暖めに』ご参加下さいますよう、お勧めいたしたいと思っております。

(文責・溝井まさ)



美女+ワン・舞子帆照にて



全国高校ラグビー 黒工健闘!!

第 89 回全国高校ラグビー大会は大阪花園グランドで 12 月 27 日から 1 月 7 日まで開催され、わが岩手県からは黒沢尻工業高が 16 年ぶりに出場した。

12 月 28 日寒風の中、1 回戦の相手と歌山工に対し 45 対 7 と快勝し、12 月 30 日の 2 回戦は北見北斗を 33 対 0 と一蹴し、更なる上位進出が期待されたが元旦の 1 月 1 日に行われた 3 回戦では優勝候補筆頭(実際に優勝した)の東福岡高と対戦し、健闘するも大差で敗れた。3 試合の中で見せた黒エラガーメンのプレーと同校の整然とした応援は岩手県人として誇りを抱かせるものであった。引き続き来年以降の活躍を期待したいものである。



県事務所大釜主事のエール

なお、関西岩手県人会では恒例の激励会を 12 月 25 日(金)昼、大阪市内の練習グランドで開催し、同高の久しぶりの出場を祝い、花園での活躍を願って選手全員を激励した。

熊谷 記

「みんなみ会」台湾旅行に同行して

溝井 まさ

まず始めに、何をおいても、そつの無い完璧で素晴らしいコンダクターの前田様ご夫妻と、この度の旅行のお仲間に入れて下さった「みんなみ会」の皆様方の温かいお心に厚く厚くお礼申し上げます。

お陰様で思いも寄らないような楽しい天国旅行をさせて頂くことができました事に、紙面をお借りし重ねて厚くお礼申し上げます。本当に有難う御座いました。

出発当日の朝は雨。『まあ張子の虎でもないし溶ける事もあるまい?』と、はやる心を抑え空港へ向かう。でも.....チラリと心に引っかかるのは、前日 Yahoo で調べた台湾の天気予報=「雨」。さらに帰国予定日の 10 月 5 日は、『もしか

したら大型台風 18 号が一お出迎え(?)』と云う……。

スーパーポジティブシンキング的には、最悪帰りの飛行機が台風で飛ばないなら……「ウン～！それだけ台湾に長く居れるか?! それもラッキー～～!!!」と。もちろん、そのような不謹慎な思想は心に秘めておりました。

さて、いきなり故人の話で恐縮ですが、その昔々、夫・故溝井泰彦は「どうしても家族全員を台湾に連れて行きたい。」と台湾旅行を夜な夜な夢見ておりました。なにしろ、台湾の話になると、あのいつも細い目を一層細めて珍しく饒舌の人となる。ある夜、何かのキッカケから、その夢見話に大輪の花が咲いてしまい、いつもにも増して台湾物語が楽しくなりました夫。話の接ぎ穂を折るのも忍びないとお付き合いして居る中に、いつしか夜も更け、気づけば 2 人でウイスキーの大角瓶を一本空にしてしまう始末。翌朝はなんと頭が上がりず、の大失態。私は午前中でなんとか回復したものの、夫はどうとう夜まで起き上がれなかつたことも……。其の時は「ウッフ私の方が半日もお先に復活!」と、密かに勝利気分(?)を誇っていたとか、いないとか……。

今にして思えば二把一絡げ、単なるバカップルです。

話が横道に反れましたが、晩年になり、やっと台湾家族旅行ツアーの予約完了までこぎつけ、後は暦をめくる楽しみだけとなった或る日、突然夫が腹部に激痛を訴え緊急入院。

誰もが、夫は出発の日までには回復し、台湾に行けばさらにパワー全開になるというシナリオを描いておりましたが……結局叶わぬ夢になってしまいました。

それでも、亡くなる間際まで、「生のライチが食べたい。」と、生ライチの季節までは何とか頑張ってくれました

病気の話はこの位にして、夫があんなに愛し懐かしがっていた台湾に、この度は前田様の神様のような強力なオーラの引力に乗せて頂き、甚大なご好意にドブプリと甘え、皆様のお仲間に入れて頂いた旅行は私にとって、夫の心を抱いての旅行でもありました。

色々な意味で私にとって台湾は夫であり言葉では表せない懐かしい所であります。

この世の天国か竜宮か……とも表現したくなる三国志のモデルにもなったとのお寺や、仙人のようなお坊様が山の上で掌に、空を切って書いてくださった「仏」の一字が薫る……。等々不思議な世界に満ちた台湾を満喫したかと思えば、移動バスでは、殿方々も足裏マッサージ経験に涙した話に盛り上がり、大賑わいという、なんとも絶妙に楽しい旅でした。

そして台湾での最後の夜は、林 基先生御一家のご招待に預かり、モデルさんの様にス・テ・キな奥様、利発なお嬢様・イケメンのお孫様ともお目にかかれ、昔からの親しいお付き合いであった様な錯覚さえ覚えて、何故か胸から溢れ出る優しく懐かしい思いで一杯となり、刻を忘れてしまいました。

林先生にご饗応賜りました台湾の超高級お料理は、とても、とてもおいしく、この上なく感激して頂戴させていただきました

した。本当に有難うございました。

大事な事が後になりましたが、この度は「みんなみ会」の皆様始め人生の立派な先輩方から私なりに色々なことを学ばせて頂くことの出来た貴重な旅でもありました、本当に有難いことに存じ感謝の念で1杯でございます。(若いときの不勉強が祟り、この思いの数々を至当な言葉にてお伝え出来ないことが口惜しくて仕方ありません)。

……お父様・「あなたの台湾」へ行って来ましたヨ……。

台湾は素晴らしい近代的な面と限りない物語性が融合し、将に燃えている様に感じられ素晴らしい処でした。アアア～楽しかった・タシカッタ～～。

私は今夜も台湾の夢を見るでしょう。

「もうよい加減でヤメンカア～」と草葉の陰からダレカさんが……のような気がして参りました……。

・ ・それにしても暫くは浦島太郎子でしょう……。



どんぐりコール公演

当会前会長 堯 律子氏が主催する「どんぐりコール・ミュージカルスクール」の43周年記念公演「星の王子さま」が、3月27日、28日の両日、兵庫県立芸術文化センター・中ホールで行われる。毎回意欲的な舞台で好評を博しているが、今回はサン・テグジュペリの不朽の名

作を舞台一杯に表現する。

入場料: 2500円

盛岡大付属センバツ出場!

3月21日から甲子園球場で行われる、第82回選抜高校野球大会に、一般選考で盛岡大付属高が7年ぶりに登場する。岩手県勢としては、2008年一関学院、09年花巻東に続き3年連続の出場となる。昨秋の東北大会で準優勝に輝き、甲子園での初の1勝を目指す。スタンドを県人会の応援団で一杯にしましょう! 新聞等で組み合わせを確認し、試合開始1時間前までに、甲子園球場正面の阪神高速道路下に集合して下さい。入場券を持って事務局が待機しています。

事務局 掲 示 板

新入会員(敬称略)
道口タマエ(奥州市)
関口淳一(奥州市)
高岸松夫(北上市)

那須野秀子(一関市)
戸羽 久(陸前高田市)
高橋和男(奥州市)
高橋礼子(奥州市)

クエ鍋と熊野古道散策の旅！

青森県人会から、岩手、秋田3県合同のバス旅行のお誘いがありました。白浜で旬のクエ鍋を賞味し、翌日は熊野本宮大社などを見学、夕方大阪に帰る予定です。3県人会合同の催しは初めての企画です。奮ってご参加ください。

ご希望の方は**3月3日(水)午前10時～午後3時まで**に事務局にご連絡下さい。(06-6344-5969)

日程:

3月13日(土)午前9時 梅田中央郵便局南側集合

バスで白浜へ

宿泊「よみうり白浜クラブ」クエ鍋

3月14日(日)午前8時20分発 熊野本宮大社など見学

夕方大阪着

参加費:約2万円

編集部から

岩手県の食材を使っている店の情報をお寄せください。県人会のホームページで取り上げ紹介して行きます。例えば、岩手短角牛や白金豚などを供しているレストランとか岩手「ひとめぼれ」を使っている食堂など、岩手の農作物、魚介、果物などをメニューに載せている店を紹介し、岩手県を応援して行きたいと願っています。情報はメール、FAX、電話で、事務局までお知らせ下さい。